錦小だより

令和８年　９月３０日
富田林市立錦郡小学校
TEL　0721-24-3106

失敗の繰り返しが成功への道

校長　安部　満之

道端には真っ赤な彼岸花が咲き誇り、秋風に稲穂も黄金の波をうっています。本格的な秋の訪れを迎え、朝夕はめっきりと涼しくなり、過ごしやすい季節になりました。



さて、毎年秋のこの時期には、ノーベル賞の発表があります。そして、ノーベル賞受賞のニュースは世間の人々を驚かせ、これまで名前すら知られていなかった人が注目を浴びるようになり、一躍「時の人」となります。そのノーベル賞のことを、みなさんはどの程度知っていますか？

ノーベル賞は、もともとスウェーデンのアルフレッド・ノーベルの遺志によるものです。アルフレッド・ノーベルは、ニトログリセリンから新しい火薬をつくり、さらに強力で完璧なダイナマイトを発明し、油田の開発などのために大きな貢献をしました。その発見のために、巨大な富を手に入れた一人でもあります。そして、その遺言状には、ノーベルが進歩と発展を願って選んだ分野において価値ある人に賞金を与えるという内容がありました。その対象とされた分野というのは、化学・物理学・生理学・医学・文学・平和・経済学でした。

研究を進めていくということは、賞とはまったく異なる目立たない手間と時間とお金のかかる地道な活動です。私たちは、とにかく余分な労力を使わず、少しでも楽な方法で目標を達成したり、必要な物を手に入れたいと、一般的には思っています。みなさんの場合は、どうでしょうか？算数などでも、途中などはどうでもいいから、正しい答えさえ出すことができればいいと考えていませんか。しかし、そういうものではありません。途中の過程も大切となりますし、失敗して得る結果も大切なのです。無駄なものなどは、ほとんどないのではないでしょうか。失敗は、成功へとつながる道にたどり着く手がかりとなります。そして、その積み重ねが成功につながっていくのです。

ノーベル賞は、その究極の成功の証と言えると思います。科学の進歩は、私

たちに多大なる恩恵をもたらし、私たちの生活は大変便利で豊かになりました。しかし、最後に次のことだけは心に留めておいてほしいと思います。それは、便利だった物でも使い方を間違えれば、ダイナマイトは武器となり、危険性と隣り合わせだということです。



『幸せを願うノーベルの気持ちを汚すことのないように！』

ちなみに、授賞式はアルフレッド・ノーベルの命日である１２月１０日にスウーデン・ストックホルムおよびノルウェー・オスロで開催されるそうです。

＜5年生・６年生　非行防止・犯罪被害防止教室＞





富田林少年サポートセンター　および　富田林警察署の方に来ていただき、非行防止、犯罪被害防止教室を実施しました。ＳＮＳの発達により、非行も犯罪も多様化しています。子どもたちが巻き込まれることがないよう。ご家庭でも見守りよろしくお願いいたします。

＜１・２年生　読み書きのテストについて＞

富田林市の小学校では、子どもたちのひらがなの読み書きの困り感に早期に気づき、支援することを目的とした、読み書きのテストを行っています。

文字の読み書きは、国語の学習の基礎であり、すべての学習につながるものです。スムーズに文字を読んだり書いたりすることに苦手を感じると、学習に集中することや意欲を持ち続けにくくなることがあります。早くから困り感に気づくことで、日々の学習指導において支援を行うことができます。また、必要に応じて保護者の皆様にも宿題や家庭学習のサポート方法についてご協力をお願いすることがあります。その場合は、直接お話させていただきたいと考えています。

今後とも、保護者の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。